北京マンガサミットに参加
河北省友好提携25周年で訪中

伊藤県議会議長を団長にした県議６人の河北省訪問団に参加し、訪中しましたので、その訪問記です。

【１日目】23日午前、北京国際空港を到着。８年ぶりの同空港は近代的な造形物に一変していた。

北京マンガサミット会場の鳥取県ブース①

マンガサミット閉会式。右は里中満智子先生②

北京市石景山区で開催中の北京マンガサミットへ。鳥取県ブースで平井知事がマイクを握り、中国語で「名探偵コナンを知っていますか？」と話すと、「シー（はい）」、シー（はい）」と観衆は大喜び。「来年はマンガサミットを鳥取で開催します」とPRされた＝写真①。しかし、ブースの展示は寂しい限りで、来年のサミットが不安になる。閉会式では里中満智子氏ら日本から訪中している漫画家の皆さんに「来年はよろしく」とお願いした＝写真②。

鳥取県文化財写真展開幕式を前に谷河北省博物館長らと懇談③

写真展開幕式は八頭高校書道部のパフォーマンスが華を添えた④

【２日目】河北省の省都・石家荘市にある河北省博物館へ。知事と共に谷館長と懇談＝写真③。河北省友好締25周年記念「鳥取県文化財写真展」の開幕式に参列した。八頭高書道部徒のパフォーマンスも披露され、華を添えた＝写真④。

河北省大会堂で省のトップ張慶偉・代省長ら河北省幹部との会見⑤

【３日目】河北省農林科学院を訪問し、鳥取県農業プの張代省長らと会談。教育庁長、商務庁長ら省幹部が全員そろい、河北省側の熱意を感じる＝写真⑤。張氏が未来志向の交流を具体的に提案。平井知事も賛意を示し、友好的な雰囲気だった＝写真⑤。歓迎レセプションでは李副秘書長（官房副長官）や馮文化庁長と、鳥取県への省営企業進出の可能性、高校生の相互交流などで意見を交換した。

河北省農林技術院で懇談⑥

河北省林業局との意見交換会⑦

研修体験者と懇談した。農業庁や農林科学院の管理職や主任研究者に昇進され、日本語が堪能なのに驚く＝写真⑥。鳥取県への理解も深く、果樹や漢方薬で相互互恵の研究ができないかなどと意見を交換した。１９８７年以来、１００人を超える人的交流が２００３年を最後に中止されたことを残念がられておられ、課題を頂いた思いがした。

午後は河北省農林局を訪問。王局長らから営林事業の現状を聞き、県産材輸出の可能性など様々な議論も重ねた＝写真⑦。

廊防市の王愛民市長らと懇談⑧

サカズキネットの植林記念碑⑨

【４日目】廊防市の王市長らを表敬＝写真⑧。倉吉市のＮＰＯ法人サカズキネットの植林現場を視察した＝写真⑨。２００９年から砂漠２００ヘクタールにポプラの苗木６０万本植え、緑化は成功のようだった。

最後の視察は廊防市の国家級経済開発区。進出企業は約１０００社、生産額は約２４００億円と聞く。

【５日目】空路帰国の途に。河北省の人口は７２００万人、石家荘市は９７７万人。この大きな省や市と対等に交流できるのも25周年の重み。まず農業交流を復活し、様々な交流を深化させることが、鳥取の未来を明るくする一助になるはず。今後、県議会で議論しせねばと機中で思った。

詳しくは左記のホームページのブログをご覧下さい。

砂場隆浩県政広場
〒680-0023
鳥取市片原１丁目107
TEL：0857-50-0130
FAX：0857-50-0641
http://www.tottori-kodomo.jp/
tottori-kodomo@olive.plala.or.jp